

認定看護師 News レター第 52 報

救急看護認定看護師の谷口拓司です。2020 年は American Heart Association 心肺蘇生と救急心血管治療の為にガイドラインがアップデートされました。しかし、COVID-19 の感染拡大に伴い、AHA プロバイダーコース開催が難しい状況でした。現在は感染フェーズも下がり、院内限定コースとして再開となり、G2020 の新コースを実施しています。変更点を抜粋してお知らせ致します。機会がありましたら受講してみたいはいかがでしょうか。

【救命の連鎖】：回復

「心停止から回復した患者は社会復帰するまで身体、認識、精神的なサポートが必要である。入院中に開始し必要とされる期間中に継続すべきである」と追加され社会復帰まで含めた考え方が重要



【胸骨圧迫の際の衣服の取り扱い】

G2015：胸骨圧迫を行う前に衣服を脱がすように記載されていた。

G2020：衣服を脱がすのが困難な場合は、衣服の上から胸骨圧迫を行っても良い

※AED パッドは皮膚に直接貼る必要があり、衣服の上から AED パッドを貼ってはいけません

【成人および小児・乳児の人工呼吸】

成人/乳児/小児の呼吸停止に対する補助呼吸、及び高度な気道確保され心肺停止時の人工呼吸回数

成人 G2015：5～6 秒に 1 回 → G2020：6 秒に 1 回

小児・乳児 G2015：3～5 秒に 1 回 → G2020：2～3 秒に 1 回

【乳児 1 人法の CPR 胸骨圧迫の手技】

G2015：2 本指法で実施

G2020：2 本指もしくは 2 本の親指で胸郭の 1/3 の深さの圧迫が困難な場合は片手の主根を使用可

【溺水の救助は人工呼吸が先】

溺水者の蘇生は C-A-B ではなく、A-B-C が望ましいという点はガイドラインレベルで言われていた改訂後、A-B-C：呼吸確認・なし→人工呼吸 2 回→脈拍確認・なし→30 対 2 の CPR 開始

【女性傷病者の留意点】

女性の傷病者の場合の留意点として、胸骨圧迫の段階では必ずしも服を脱がさなくても良いという点が明記。AED 装着する際は必ず服を脱がす、アクセサリ類はパッドにかからなければ外す必要はない

【CPR コーチ】：新しい概念

ACLS チームリーダーとは別に CPR の質管理を行う別のリーダーを配置するというものである

足台の準備やベッド高さ調整、リーダーが薬剤指示や原因検索に集中できるように CPR の調整を実施

作成：谷口 拓司 承認：横山 藤美